

TDCG

東京歯科大学同窓会会報

207

1982年 6 月

東京歯科大学同窓会会報 第207号

目次

巻頭言	1
お知らせ	2
本部短信	3
ゴルフ大会案内	4
日歯新役員紹介	5
逝去会員	6
母校だより	7～10
昭和57年度・母校入学式	11～12
<特別企画>千葉校舎に入学させて	13～14
先輩訪問	15～17
支部のうごき	18
クラス会だより	19～22
トピックス	23～25
へんしゅうこうき	26

(表紙・カット 菊池 豊)



千華校舎の彫刻(3)

千葉の新校舎には5つの彫刻が置かれているが、これらを順次紹介している。



空間としての球体

この作品は球体の $\frac{1}{8}$ のしかもその外側を造形したもので、正と負の逆転した姿である。ネガティブな存在を表現するこの彫刻19枚のステンレスパネルをボルトで固めたもので、ボルトをはずすことによってこの彫刻は消滅する構造をもつものである。

(伊藤隆康)

巻頭言



『誠』

同窓会副会長 山 脇 弘

今歯科界は、同窓会、大学、日本歯科医師会共に厳しい環境の中にたたさされている。諸問題を左右する人事と、人間関係、又臨学一体の理念で地域住民により良い医療を還元すべき為には、卒後研修セミナーの活用、現時点では特に老人医療（老人保健）の問題等、何をどう実現させるべきか、どうあるべきか。

日本の歯科医学を欧米先進国並みの水準に向上させたのは、高山紀斎先生と、血脇守之助先生であった。その説かれた建学の精神は、『歯科医師である前に人間であれ』であった。理性ある人間であると同時に「ヒューマニティ」豊かな暖かい心を持った人間であってほしいと説かれている。初心にかえり、誠をもって対処する心が最も必要な時だと思う。

お知らせ

○ TDC卒後研修セミナー '82 プログラム

総合的な視点にたった歯科診療

加齢への対応〔Ⅲ〕生体と修復の調和を求めて

◇第6回〔昭和57年7月17日(土)〕

■ 加齢変化の周辺をさぐる<4>

9:30~11:00 ※矯正治療の年齢的条件への指針を求めて 瀬端 正之(東歯大・矯正)

12:00~14:00 1.ブリッジとパーシャル・デンチャーの
混在する症例から 菅野 博康(宮城県・開業)
山下 敦(岡山大・歯・補綴)

14:10~16:30

◇第7回〔昭和57年9月18日(土)〕

9:30~10:50 2.少数歯残存症例をめぐって 河原 俊郎(千葉県・開業)

10:50~12:20 関根 弘(東歯大・補綴)

13:20~15:50 染谷成一郎(東京都・開業)

16:00~16:30 ◇'82のまとめと'83の展望 卒後研修特別委員会

◇受講証の授与、会長挨拶

ところ 経団連会館14階経団連ホール

(地下鉄丸の内線・千代田線・東西線大手町駅・国電東京駅下車)

○ 第215回東京歯科大学学会例会

とき 昭和57年6月19日(土)午前9時30分~午後4時40分

ところ 東京歯科大学千葉校舎

講演 午前 一般講演

午後 一般講演 特別講演

なお、当日は歯科医療関係商社の屋示即売会を併催いたします。

○ 第11回同窓会全国ゴルフ大会

とき 昭和57年11月12日(金)

ところ 袖ヶ浦カントリークラブ

詳細は本誌4頁をごらん下さい。

○ 昭和57年度東京歯科大学同窓会評議員会・総会・懇親会

とき 昭和57年11月13日(土)午前10時

ところ 高輪プリンスホテル

本部短信

1) 行事出張, その他

- 3月21日 大分県支部総会 山脇副会長, 杉山理事出張
23日 役員打合会(会長, 在京副会長, 総務, 会計, 渉外, 学術, 共済部理事各主任)
25日 歯科衛生士専門学校卒業式 河邊会長列席
28日 兵庫県支部総会 河邊会長出張
29日 学術部委員会
4月2日 卒後研修特別委員会(合同)
3日 東京歯科大学入学式 河邊会長他役員列席
9日 卒後研修セミナー講師打合会
9日 卒後研修特別委員会(企画小委員会)
4月14日 広報部委員会(企画)
15日 役員打合会(共済部担当理事)
15日 卒後研修特別委員会(合同)
16日 ゴルフ大会役員会
17日 卒後研修セミナー(第3回)

- 17日 卒後研修セミナー講師, 受講者懇談会 伊丹副会長出席
19日 卒後研修セミナー講師打合会
20日 常任理事会
24日 福岡県支部総会 吉川副会長, 津島理事出張
26日 学術部委員会
28日 常任理事会

2) 支部長交替

- 交替日
- 旭川支部 高橋 晃久(昭28.3卒) 57.3.15
(前) 佐藤 邦重(昭10.3卒)
渋谷支部 田中 悦(昭29.3卒) 57.4.1
(前) 本間 正己(昭29.3卒)
兵庫県支部 林 幹雄(昭14.3卒) 57.4.1
(前) 滝川 左近(昭14.3卒)

3) 罹災会員

- 下谷支部 近藤幸太郎(昭9.3卒)
(昭57.4.15類焼により家屋全焼)

昭和57年春の叙勲並びに褒章に当り, その榮譽に浴された本会関係諸先生は次のとおりであります。心からお祝い申し上げます。

(絛勲受章)

(厚生省関係)

- 勲四等瑞宝章 滝 義胤氏(愛知県)
勲四等瑞宝章 宮崎芳雄氏(青森県)
勲五等双光旭日章 清水弥寿雄氏(新潟県)

(文部省関係)

- 勲五等双光旭日章 江崎 清氏(長崎県)
勲五等瑞宝章 山田辰三氏(埼玉県)
(褒章受章)
藍綬褒章 斎藤光生氏(埼玉県)

お 願 い

昭和57年春の叙勲, 褒章受章者の発表に際し, 同窓会本部の調査によると受章者は滝義胤氏他5名の諸先生となっておりますが, 上記以外に叙勲, 褒章を受章された会員がいましたら, 同窓会本部あてご通報をいただきたく, お願い申し上げます。

第11回同窓会主催全国ゴルフ大会御案内

本会主催ゴルフ大会は、昨年と同様千葉県同窓有志の御世話に依り、下記日程にて開催致すことに決定致しました。同窓会評議員会総会の日程にあわせ前日に行いますので、全国各地からの参加をお待ちして居ります。

期 日 昭和57年11月12日(金)
会 場 袖ヶ浦カントリークラブ・袖ヶ浦コース 千葉市辺田町567
競技方法 変則キャロウェイ方式
会 費 25,000円(グリーンフィー)(キャディフィー)(昼食)(パーティー代・ロッカー代・賞品代を含む)
申込期日 8月1日より9月20日まで、但し先着180名で受付を締切ります。
申 込 先 東京歯科大学同窓会事務所内
ゴルフ大会係宛
〒101 東京都千代田区三崎町2-9-18
TEL 03(264)4859

申込方法 (25)頁刷り込みの参加申込書に所定の事項を記入のうえ、会費25,000円を添えて、現金書留にてお送り下さい。尚参加申込は会員毎にすること、一括申込み及び電話でのお申込みは認めません。但し申込後やむを得ない事情に依り欠席する場合は、10月31日までに同窓会事務所内ゴルフ大会係宛連絡のあった会員に限り10,000円を返済致します。

注意事項 (1) 本大会についての詳細(スタート、組合せ等)は、大会実施要項として10月下旬にお送り致します。

(2) その他ご質問、お問合せ等は下記同窓会理事にお願い致します。

浜野伸彦 0472(27)4922

杉山邦夫 0473(34)6272

ご 挨拶

同窓会会長 河 邊 清 治

昨年11月に行われた第10回ゴルフ大会に参列する機会を得て、親しく全国各地で活躍されておられるゴルフ愛好の諸君と話し合うことが出来楽しいひとときを過しましたが、趣味を通して全国の同窓が集るといことは、大変意義あることと思います。本年ふたたび会長にご指名をいただきましたが、歯科界をとりまく環境は非常に厳しさを増しつつあります。今日の社会

情勢、地域社会の要望に答える為にも常に我々は卒後研修に務めるとともに、自身の健康管理にも充分留意せねばなりません、そのためにもゴルフは歯科医にとって適切なスポーツであると思いますので、今後益々盛会且つ充実した大会になることを期待します。大会開催に当り、関係各位並びに大学当局のご協力を心から感謝致します。

第4次日歯山崎執行部の新役員決定

日本歯科医師会の役員改選にともなって本学同窓の山崎数男君が4たび会長に就任したことは、既報(206)号のとおりです。

それに基づき会長指名の理事20名(専務理事1名、常務理事9名、地区理事10名)は、去る4月20日開催の理事会において指名され、理事会の議を経てそれぞれの職務分担も決まり、第4次日歯山崎執行部が発足しました。

今回の改選にあたり山崎会長は、会の執行に新しい息吹きをという考え方から常務理事については人心の一新をはかり、1名の返り咲きを除いては、すべて新人による陣容で今後3年間会務の執行にあたることになりました。

本学同窓からは、常務理事に鳴神保雄君(昭和30年卒)会計担当、岡英男君(昭和36年卒)調査室・器材薬材担当、地区理事に武井芳弘君(昭和20年卒)会計・社会保険担当、倉繁準之助君(昭和28年卒)医療管理・税務担当が就任しました。

ここで4君のプロフィールについて触れてみます。



まず、鳴神保雄君は十数年前に東京都歯科医師会の理事を皮切りに日本歯科医師会の各種委員会委員および委員長を歴任し、日本歯科医師会の会務運営などについて精通し識見能力ともに第1人者といえましょう。体軀は小柄ながら内に秘めたファイトは人一倍強く、明晰な頭脳で高所大所から会の執行を見つめ、人との和の中で会計処理を無難にこなしてくれるものと期待しています。



また、岡英男君は3期6年にわたり東京都歯科医師会の調査室、保険担当理事として活躍され、とくに医療のシステム化に目をつけ、いち早く保険請求事務にコンピュータの導入をはかるなど情報化時代への先鞭をつけ、今後ファクシミリを導入、薬剤、器材等の新開発再評価など80年代にむけての医療の変革期の中で正にうってつけのポストとい

えましょう。今回の常務理事の中で昭和2桁は岡君一人であり、全力投球されんことを望みます。



次に、地区理事として就任された武井芳弘君は、山梨県歯科医師会の現職会長であり、日本歯科医師会代議員としても活躍された医政のベテランです。甲斐の国の良さを十分に吸収された紳士で、是々非々については常に明確を旨とし、筋の通らぬ言には筋を通すという正論派で、まさに理事会の大久保彦左のご意見番としてうってつけの人事といえましょう、理事会の舵取り役としてのご活躍をお願いいたします。



倉繁準之助君は、鳥取県歯名会長・上田氏の下で副会長として活躍され、剛にして柔、低成長下の経済情勢の中で医業経営、税制については独自の見解と識見を有するファイトマンであり、所得税の特措法の改正や今後さらにきびしさを増すであろう医業経営環境の中で常務理事の良きアドバイザーとして活躍されることと期待しています。

さて、第2臨調の答申にも見られるように医療費問題を中心としてわれわれを取巻く環境はきびしく、加えて会の一般会務の執行はもとより、明年に迎える第71回FDI大会、第15回学会総会は、わが国として初めて経験する大事業であり、さらに新会館建設等に、従来から山積され未解決の諸問題、加えて予測し難い諸情勢を考えると、山崎会長を中心として本学同窓の4君がガッチリとスクラムを組んで事に当り、難問を解決してくれるものと期待しています。

しかし、3カ年という長丁場です。同窓各位の心ある援助と鞭撻こそ真の血闘イズム、水道橋精神であり、そこに4君が期待に答える活躍が芽ばえることでありましょう。激務の中で健康には十分留意されんことを願いつつご紹介いたします。

逝去会員

下記の会員が逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表し
心からご冥福をお祈り申し上げます。 (敬称略・届出順)

●大 3 卒 埼玉県支部	須藤 至 (91才) 〒352 新座市あたご3-1-1	心不全	57. 2. 21
●推 薦 北信支部	小山 義雄 (90才) 〒381-12 長野市松代町有楽町	直腸癌	57. 2. 20
●大 6 卒 北信支部	北村 実 (89才) 〒380 長野市大門町51	老衰	57. 2. 23
●昭 19. 9 卒 広島県支部	中川 俊彦 (59才) 〒733 広島市西区庚午北3-13-9	肺 癌	57. 2. 24
●大 10 卒 兵庫県支部	田辺 義雄 (85才) 〒688-02 兵庫県出石郡出石町本町62	冠不全	57. 3. 1
●大 8 卒 兵庫県支部	木下 実 (87才) 〒653 神戸市長田区細田町6-1	脳動脈硬化症	57. 2. 21
●大 14 卒 香川県支部	中島 英 (88才) 〒761-04 高松市川島東町8-4	胃 癌	57. 3. 7
●大 10 卒 東信支部	荻原 実 (82才) 〒385 佐久市岩村田	急性肺炎	57. 3. 7
●大 3 卒 石川県支部	志村 忠一 (89才) 〒920 金沢市下近江町63	脳溢血	57. 3. 9
●昭 5 卒 長崎県支部	吉崎 久 (77才) 〒856 大村市西本町478	再生不良性貧血	57. 3. 16
●大 10 卒 岡山県支部	清水道雄 (85才) 〒719-11 総社市総社 785-4	心不全	57. 1. 30
●医 学 校 京都支部	富田 隆雄 (83才) 〒604 京都市中京区三条通寺町西入弁慶石町58	腎不全	57. 3. 20
●昭 18. 9 卒 大森支部	近藤 正夫 (61才) 〒146 大田区東嶺町39-3	肝硬変	57. 3. 22
●昭 5 卒 横浜西部	稲垣 金作 (83才) 〒240 横浜市保土ヶ谷区法泉1-10-17	急性心不全	57. 3. 24
●大 8 卒 岐阜県支部	大森 保 (83才) 〒501-46 岐阜県郡上郡大和村剣254	急性肺炎	57. 3. 24
●医 学 校 愛媛県支部	高岡 好春 (82才) 〒796 八幡浜市大黒町3-526-5	呼吸不全	57. 3. 21
●推 薦 東信支部	小池 ちよ江 (67才) 〒384 小諸市荒町甲 2899-3	心筋硬塞	57. 3. 27
●推 薦 中信支部	中沢 明一郎 (90才) 〒390-03 松本市大字浅間温泉39-11	心不全	57. 2. 28
●推 薦 福井県支部	片山 廉治 (80才) 〒915 武生市桂町5-22	肺 炎	57. 4. 1
●大 10 卒 大森支部	永田 令藏 (82才) 〒143 大田区中央2-11-11	心不全	57. 4. 10

母校だより

○ 学位記授与

第275回(56. 4. 13)合格	第276回(56. 5. 11)授与
長東三千雄(病理Ⅱ 第639号 乙第336号)	
内山 健志(口外Ⅱ 第640号 乙第337号)	
第276回(56. 5. 11)合格	第277回(56. 6. 8) 授与
富田美佐子(衛生 第641号 乙第338号)	
山本 啓介(薬理 第642号 乙第339号)	
森戸 卓爾(病理 第643号 乙第340号)	
木村 利男(口外Ⅱ 第644号 乙第341号)	
富田 義浩(保存Ⅰ 第645号 乙第342号)	
第277回(56. 6. 8) 合格	第278回(56. 7. 6) 授与
見須まり子(保存Ⅲ 第646号 甲第304号)	
柴田 考典(口外Ⅱ 第647号 甲第305号)	
野呂 明夫(保存Ⅲ 第648号 甲第306号)	
弓井 敏郎(保存Ⅲ 第649号 甲第307号)	
水谷 裕(保存Ⅲ 第650号 甲第308号)	
市川 隆一(生理 第651号 乙第343号)	
四家 秀雄(解剖Ⅰ 第652号 乙第344号)	
第278回(56. 7. 6) 合格	第279回(56. 9. 14)授与
佐々木登志子(微生物 第653号 乙第345号)	
岡野 昌治(口外Ⅱ 第654号 甲第309号)	
菊地 香(補綴Ⅱ 第655号 甲第310号)	
田中 久雄(衛生 第656号 乙第346号)	
田村 朗(薬理 第657号 乙第347号)	

○ 千葉病院ならびに水道橋病院長の就任

昭和56年9月1日千葉校舎の東京歯科大学千葉病院開院に伴い、病院長に高橋庄二郎教授、副院長に羽賀通夫教授が就任した。

また、同日従来の東京歯科大学病院は今回東京歯科大学水道橋病院として新発足し、病院長に長谷川正康教授、副院長に佐藤徹一郎教授が就任した。

○ 大森清弘教授逝去さる

東京歯科大学口腔外科部長、口腔外科学第1講座主任大森清弘教授は去る7月13日国立東京第二病院において、肝硬変症に伴う食道静脈瘤破裂の

ため逝去された。享年52歳。

大森教授は昭和28年3月東京歯科大学を卒業後、ただちに口腔外科学教室に入室され昭和32年4月講師、同39年4月助教授をへて同47年11月口腔外科学第1講座主任教授に昇任され、今日まで多くの後進の指導に当って来られた。温厚かつ公正な人柄と広く深い学識は教室員はもとより広く学生諸君の敬愛的であった。学生教育には特に情熱をそそがれており専門課程3・4学年の学生主任やスキー部部长なども受け持たれ、稲毛新キャンパスでの新しい教育の構想を目を輝やかせて語っておられた。ここに先生を失ったことは大学にとっても父兄会にとっても大きな痛手である。

密葬は7月16日、近親者の方々により行われた。また7月25日千日谷会堂において、東京歯科大学病院長・口腔外科学第2講座主任高橋庄二郎教授の葬儀委員長のもとに口腔外科学教室葬が挙行された。葬儀は午後1時より歯科麻酔学教室主任中久喜 喬教授の司会で始まり、読経のあと鹿島俊雄理事長、松宮誠一学長、河邊清治同窓会会長、大川豊太郎父兄会会長、渡辺義男日本口腔外科学会会長、作間敏信門下生代表が次々と登壇し、故人の功績を称え、急逝を惜む弔辞が述べられた。

午後2時から3時まで告別式が行われたが、生憎の猛暑のなかを多数の会葬者がひきもきらず故人のお人柄を偲ばせた。ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

まもなく1周忌でもありますが新ためて先生のご冥福をお祈り申し上げます。

○ 5教授新任

9月1日付をもって次の5人の教授が就任した。すなわち、高橋一祐教授(保存・Ⅲ)、腰原好教授(補綴・Ⅱ)、重松知寛教授(口外・Ⅱ)、一色泰成教授(矯正)、野間弘康教授(口外・Ⅰ)の方々である。



教授就任のご挨拶

高橋 一 祐

この度、教授会のご推挙により9月1日付をもって栄誉ある本学の教授に任ぜられました。誠に光栄の至りであり、同時にその責任の重大さを痛感致しております。

水道橋病院は、これまでの名声と伝統を保ちながら時代の要請に応じて一層の発展と充実を計るべく、新しい医療感覚で進むことが望まれています。今回、私は水道橋病院における保存部門関係の教授としてその一端を担うことになりましたが、この重要な責務に対して力量の不足を深く感じております。

幸い、経験豊かな長谷川病院長の下、その方針に沿って、また千葉病院の石川保存部長、佐藤、浅井両主任教授とも連携を保ち、これまでの研究、教育さらに臨床の経験を踏えて、微力ではありますが全力を傾注し、本学発展に寄与したいと思っております。皆様の温いご支援とご指導ご鞭撻の程をお願い申し上げ、ご挨拶と致します。



教授就任のご挨拶

腰 原 好

東京歯科大学にとって、長年の懸案でありました新校舎が、9月1日をもって千葉に開校するはこびとなりました。それにともない、90年の伝統ある水道橋校舎は、東京歯科大学水道橋病院として発足することになりました。この時期に、学長

松宮誠一先生はじめ、全教授の御推挙によって、この度、東京歯科大学発祥の地である水道橋病院において臨床を中心とした補綴部門の教授として精励するよう任命を受けました。まことに光栄に存ずるとともに責務の重大さを痛感致しております。

水道橋校舎は多くの先輩の献身的な努力によって築かれた業績と伝統と幾多の思い出があり、同窓のシンボルであります。

病院長の長谷川正康教授を中心に、新しい構想のもとに発足する水道橋病院で、千葉校舎における補綴学教室と密接な連携をとりながら、先輩の築かれた良き伝統を守り、大学病院の将来像をめざして精進する決意であります。

しかしながら、浅学非才の身でありますので、是非とも皆様の御協力がなければなりません。何卒、各位の皆様の御指導御鞭撻と心からの御支援をお願い申し上げて、簡単ではございますが就任の挨拶に代させていただきます。



教授就任のご挨拶

重 松 知 寛

このたび、教授会の推薦を受け、伝統ある東京歯科大学口腔外科学第Ⅱ講座教授に昇任いたしました。その責務の重大さに身のひきしまる思いでいっぱいでございます。特に、千葉校舎水道橋病院に分かれ、共に教育研究診療と一層の努力が要求される時であります。この期に水道橋病院勤務を命じられ、第87期生の臨床実習教育の充実と併せて今後の水道橋病院発展に向かってなお一層の努力をいたすと共に、口腔外科学教室の充実に微力ながらつくりたいと思います。

最後に皆様方のご指導ご鞭撻を重ねてお願いいたします。



教授就任のご挨拶

一色 泰成

このたび、教授会の御推挙をいただき9月1日付で教授に任ぜられ、水道橋病院矯正科を担当することになりました。

私にとり、まことに光栄でありますとともに、その責務のきわめて大なることを身に泌みて痛感しております。

歯科矯正学は近年、診断学・治療学の臨床面における飛躍的な進歩とともに、多くの矯正専門医を生みました。また、唇顎口蓋裂の矯正治療が保険医療に導入されることが決定し、ますます社会的要請が高まっています。したがって、卒前教育の拡充と充実した卒後教育が重要視されるところであります。

諸学科、諸講座との提携を深めながら、また、千葉病院矯正科の良きパートナーとして、浅学非才の身ではございますが教育・研究・診療に情熱を燃やして全力を尽したいと念じております。今後とも皆様方の御指導、御鞭撻をお願いし御挨拶といたします。



教授就任のご挨拶

野間 弘康

この度、教授会の御推挙により東京歯科大学口腔外科学教授に就任いたしました。就きましては、今後は非才に鞭打ち、全力を尽して遠藤至六郎先生以来諸先輩の築かれた水道橋口腔外科の伝統を守り、あわせて東京歯科大学の発展の一助と

なるべく精進いたす覚悟でございますので、何卒倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますよう、偏にお願い申し上げます。

○ 河合貞吉教授の定年ご退職

昭和30年以来長年にわたり東京歯科大学の進学課程において化学を担当され、長らく進学課程の幹事をされていた河合貞吉教授は、昭和56年9月17日をもって定年ご退職された。

東京帝国大学理学部化学科を卒業された理学博士である河合教授は、昭和30年5月に市川の進学課程に着任され、昭和34年よりは東京歯科大学教授として化学を担当されてきた。

先生はご退職後も化学担当の非常勤講師としてお願い、引き続き本学学生の教育に専念いただくことになっている。

また、昭和56年10月13日開催された全体教授会では満場一致で河合教授を名誉教授に推薦した。

○ 第69回歯科医師国家試験に全員合格

昭和56年度春の第69回歯科医師国家試験は去る3月19日筆記試験、4月19・11両日実地試験が実施された。本学からは本年度卒業生170名が受験したが、全員合格した。

したがって、本年秋に施行される第70回歯科医師国家試験を受験する本学卒業の受験者はない。

○ 人事

役職者の異動

東京歯科大学千葉病院長	高橋庄二郎	56. 9. 1
東京歯科大学千葉病院副院長	羽賀 通夫	〃 〃 〃
	関根 弘	
東京歯科大学水道橋病院長	長谷川正康	〃 〃 〃
東京歯科大学水道橋病院副院長	佐藤徹一郎	〃 〃 〃
学術出版部長	浅井 康宏	〃 〃 16
定年退職	幹 事 河合 貞吉(進 程)	〃 9.18
退職	教 授 大森 清弘(口外Ⅰ)	〃 7.13
	助 授 佐藤 悠二(市病産婦人科)	〃 5.31
	講 師 石塚 勇(補Ⅰ)	〃 6.30
	〃 中尾 一成(補Ⅱ)	〃 〃 〃
	〃 塚越 完子(歯 麻)	〃 〃 〃
	〃 富田美佐子(衛 生)	〃 〃 〃

母校だより

助手	高橋 哲也(市病外科)	56. 5. 31	〃	亀井 正典(保 Ⅲ)	56. 9. 1
〃	若林 靖久(〃 内科)	〃 〃 〃	〃	堀 章一(口外Ⅱ)	〃 〃 〃
〃	井田 智子(保 Ⅱ)	〃 〃 〃	〃	宝田 一郎(補 Ⅱ)	〃 〃 〃
〃	相原 健(オーラル メディシン)	〃 6. 30	〃	高峰 弘二(〃)	〃 〃 〃
〃	小堀 清(市病産婦人科)	〃 〃 〃	〃	帆足由里子(歯 麻)	〃 〃 〃
〃	山名 洋(薬 理)	〃 7. 31	〃	関谷 実(保 Ⅱ)	〃 9. 16
〃	田本 裕二(稲 診)	〃 8. 31	〃	笠井 俊一(〃)	〃 〃 〃
〃	菊地 均(〃)	〃 〃 〃	休職 講 師	高橋 義一(口 衛)	56. 7. 1~57. 3. 31
〃	増田 裕子(〃)	〃 〃 〃	復職 講 師	柳沢 孝彰(病理Ⅰ)	56. 6. 16
〃	川野 浩一(〃)	〃 〃 〃	海外出張期間延長願		
〃	渡辺 修(〃)	〃 〃 〃	講 師	小宮山彌太郎(補Ⅲ)	56. 9. 16~57. 9. 15
昇任 助教授へ	高橋 一祐(保 Ⅲ)	〃 9. 1	非常勤講師(新任と継続)		
〃	腰原 好(補 Ⅱ)	〃 〃 〃	石塚 勇(補 Ⅰ)		56. 7. 1
〃	重松 知寛(口外Ⅱ)	〃 〃 〃	中尾 一成(補 Ⅱ)		〃 〃 〃
〃	一色 泰成(矯 正)	〃 〃 〃	富田 義浩(保 Ⅰ)		〃 7. 16
〃	野間 弘康(口外Ⅰ)	〃 〃 〃	塚越 完子(歯 麻)		〃 7. 1
講師より	磯 泰巳(保 Ⅱ)	〃 〃 〃	吉田 和子(組 織)		〃 9. 1
助教授へ	〃	〃 〃 〃	岡崎 達司(医療保険)		〃 〃 〃
助手より	島 秀一(保 Ⅰ)	〃 7. 16	河合 貞吉(化 学)		〃 〃 19
講師へ	〃	〃 〃 〃	(配置替)		
採用 助 手	井口 裕一(病理Ⅱ)	〃 5. 1	森谷 秀樹(稲毛歯診(歯科 学)を水道橋病 院(歯科学)へ)	〃 9. 1	
〃	小泉 好正(補 Ⅰ)	〃 〃 〃	岡 滋夫(〃)	〃 〃 〃	
〃	辻 孝(〃 Ⅰ)	〃 〃 〃	教室幹事交代 56. 9. 1付		
〃	西村 一郎(〃 Ⅲ)	〃 〃 〃	衛生学 新 任 橋本 雅範(助 手)		
〃	野村 茂樹(〃 Ⅲ)	〃 〃 〃	旧 任 坂間久之祐(講 師)		
〃	藤関 雅嗣(〃 Ⅲ)	〃 〃 〃	医局長交代 56. 9. 1付		
〃	二階堂雅彦(歯 麻)	〃 〃 〃	補綴科 新 任 高梨 公男(講 師)		
〃	森 名子(〃)	〃 〃 〃	旧 任 安達 康(〃)		
〃	千葉 孝(歯 放)	〃 〃 〃	麻酔科 新 任 伊東 哲(講 師)		
〃	加藤 良一(市病外科)	〃 6. 1	旧 任 原岡 研二(〃)		
〃	竹内 伸也(〃 内科)	〃 〃 〃	東歯大千葉病院医局長新任 56. 9. 1付		
〃	佐野 浩(オーラル メディシン)	〃 〃 16	保存科 角田 正健(講 師)		
〃	柴田 考典(口外Ⅱ)	〃 〃 〃	口腔外科 斎藤 力(〃)		
〃	中崎 俊克(保 Ⅱ)	〃 〃 〃	補綴科 安達 康(〃)		
講 師	小田 高久(市病産婦人科)	〃 7. 1	小児歯科 須田 希(〃)		
助 手	神野 正雄(市病 〃)	〃 〃 〃	矯正科 古賀 正忠(〃)		
助 手	弓井 敏郎(保 Ⅲ)	〃 7. 16	麻酔科 原岡 研二(〃)		
〃	野呂 明夫(〃)	〃 〃 〃	(東京歯科大学広報79号より)		
〃	水谷 裕(〃)	〃 〃 〃			
〃	岡野 昌治(口外Ⅱ)	〃 〃 〃			
〃	二村 光(オーラルメデ ィン)	〃 〃 〃			

昭和57年度新入生名簿

4月3日(土)午後1時から新装なった千葉校舎講堂で初めての入学式が挙行された。講堂には多数の大学関係者、父兄会および同窓会関係者、新入生父兄が臨席し、90周年記念祭歌および校歌のコーラスで式は開始された。式は中久喜学生部長の開会の辞に次いで、国歌を斉唱し、金竹哲也学監の呼名により新入生166名が紹介された。ついで松宮誠一学長の告辞、鹿島俊雄理事長の祝辞があり、新入生を代表して吉本浩太郎君の宣誓が行われた。さらに学長から大学徽章の授与ののち、校歌を斉唱して入学式を終了した。入学式終了後、新入生は各クラスに別れてオリエンテーションを受け、父兄は新入生父兄会ならびに厚生棟食堂での懇親会に臨んだ。各クラスの新入生、出身校、父兄名は以下のとおり。

1年A組

氏名	出身校	父兄名
阿嘉由紀美	(那覇高)	昭宗
新井哲史	(岩見沢高)	謙澄
飯田みどり	(目白学園高)	慶治
五百住守彦	(慶応義塾高)	五百太
市川美佳	(女子学院高)	裕二
市原栄浩	(長生高)	泰彦
一色浩希	(郁文館高)	泰成
伊藤昌久	(玉川学園高)	浩雄
岩田昌一	(児玉高)	良正
梅原一浩	(弘前高)	正魁
江畑玲子	(昭和学院高)	英世
大住英仁	(青井高)	俊雄
太田広宣	(桜丘高)	久平
奥田進次	(清風高)	一昇
小熊路生	(玉川高)	昭裕
小野瀬正浩	(一橋高)	文雄
葛西由美子	(青森高)	武久
金子淳夫	(高田学苑高)	正泰
川越靖敏	(新島学園高)	英弥
木津原広子	(旭川東高)	正一
栗原弘実	(慶応義塾高)	祐一
小林久恭	(鶴岡南高)	孔春
小笹田吉行	(徳島市立高)	貞和
椎津裕由	(安房高)	清公
鈴関木口一	(佐原高)	俊三
鈴木洋子	(鎌倉学園高)	進司
須藤剛	(警城女子高)	登司
竹居いづみ	(駒込高)	裕
武田康雄	(白川高)	
田中五郎	(大田原高)	
津田哲哉	(厚木高)	
常木直哉	(水戸第一高)	
角田裕史	(新発田高)	
	(館林高)	

寺中永	門尾野	千秀	子俊	(水戸第二高)	乙二
沼村沢	中野村	雅泰	美規	(白根開善高)	俊郎
橋本さゆり	沢本	孝典	典典	(糸魚川高)	敏之
花岡徹	沼本	さゆり	さゆり	(独協高)	泰人
花村信明	花岡	徹	徹	(新庄北高)	孝夫
松澤政彦	花村	信明	信明	(札幌南高)	秀雄
松田正司	松澤	政彦	政彦	(上田染谷丘高)	章有
三嶋仁実	松田	正司	正司	(嘉穂高)	敏人
三美馬内本	三嶋	仁実	仁実	(日大第二高)	愛力
宮森哲貴	三美	馬内本	馬内本	(熊本高)	恒雄
森山崎善裕	宮森	哲貴	哲貴	(愛知教育大学)	孝彰
山田善一	森山	崎善裕	崎善裕	(甲府西高)	孝優
渡辺富一	山田	善裕	善裕	(徳島市立高)	喜重郎
湯口部一	渡辺	富一	富一	(長崎南高)	善三郎
池田みゆき	湯口	部一	部一	(秀山高)	渥美
石井洋英	池田	みゆき	みゆき	(松比谷高)	一雄
伊藤公英	石井	洋英	洋英	(浅野高)	
岩田佐企子	伊藤	公英	公英	(愛知教育大学)	
岩竹容子	岩田	佐企子	佐企子	(文京高)	
上田雅孝	岩竹	容子	容子		
上本佳秀	上田	雅孝	雅孝		
宇野沢秀樹	上本	佳秀	佳秀		
大久保惠世	宇野	沢秀樹	沢秀樹		
緒形克彦	大久保	惠世	惠世		
加世田昭彦	緒形	克彦	克彦		
岸田村育美	加世田	昭彦	昭彦		
木津育英	岸田	村育美	村育美		
国府田英敏	木津	育英	育英		
	国府田	英敏	英敏		

1年B組

〈特別企画〉

千葉校舎に入学させて



息子を千葉校舎に送って

中村泰之(昭和28年卒)

昭和57年度の入学式が去る4月3日に千葉校舎の講堂で挙行された。しかも創立90周年記念祭歌(薨に聳える)による幕開けは特に印象的なものであった。これは新しい東京歯科大学の歴史の一頁となろう。私事ながら思い出すと父は東京歯科医学専門学校の一回生であり、私自身が我が国初の歯科大学に昇格して東京歯科大学となった時の一期生であり、又今回息子が新装なった千葉校舎への入学の一番目でありここで今後6年間の一貫した勉学をする最初の学年になったわけである。三代に亘って東京歯科大学のお世話になるわけで現在迄1万有余名の卒業生がいるがこの様な偶然に恵まれた者はまず無いのではなかろうか。学校での教育も優秀で豊富な教授陣のもとに色々と工夫がこらされ、21世紀に向って新しいカリキュラムが組まれて次期をにやう歯科医師の教育がスタートしたわけである。千葉校舎の新しい設備と相まって完璧な教育結果を生むであろう。

授業も90分授業で7割以上の出席がないと試験受験資格が無くなり単位がとれなくなってしまうそうだ。又週休二日制が採用されて土曜と日曜が

休日である。この様なシステムから体育のクラブ活動にも力を注ぐことが出来る様になっている。勉学のみでなく体力づくりにも大きく考慮され受験戦争でとかく失われがちな人間形成の場をここでも大いに復活して愜しいものだ。体育館も2階建の立派なもので1階が武道場、柔道場、卓球場、筋肉トレーニング場、2階がアリーナ。屋外運動場は400mトラック、テニスコート4面、野球場用地も確保されている。

今の学生の置かれている環境は恵まれたものである。この新しい土壌からの歯科医師の誕生となるので未来の東京歯科大学に対しての期待は大きいものがある。又母校の特色である家族主義の良さを生かして今後とも千葉と市川病院、水道橋と三者が腕を組みその成果を発揮するに違いない。母校の発展は卒業した我々にとって誰もの願いであり我が国は勿論姉妹校である米国フロリダ州立大学、スウェーデン国のカロリンスカ大学、韓国の延世大学等世界に誇れるものになってもらいたいと切望するものである。今年息子が東歯大に通学する様になっての偶感である。

「温故知新」歯学の殿堂へ娘を

山 岸 昭 平（昭和34年卒業）

一般的な家庭の如く、女子としての教育はやがて家庭に入るための教養として必要だからぐらいに思っており、職業人として自立させることを子育ての目標にしていなかったのです。ところが、娘達が、突然、私と同じ歯科医の道を選ぶと言い出しました。何時の間にか親の心積りと子供の将来の目標が擦れ違っていたのです。しかし子供が望む以上、その教育を母校にお願いして、三代目が無事に育つことを見守ることにしました。私自身、卒業以来、水道橋で研究と臨床技術等の修得のために保存学教室に在籍し、現在は非常勤講師として千葉へ通っておりますが、まさか子供達と通うなどとは夢想だにしておらず、何か複雑な思いがいたします。

母校は創立90周年を迎えて水道橋を離れ、千葉に新天地を求めて、千葉校舎及び病院が完成しました。ここでは従来と異なり、大学自身の伝統と教育方針に沿った新しいカリキュラムが生まれ、基礎学科と臨床学科を密接化し、6年間を通した総合一貫教育が行なわれるといわれます。さらに国際交流を深めるため、海外数ヶ国の大学と姉妹校協定を締結したとも聞いております。

将来に向けて、日本さらには世界に通用する歯科医を養成する歯学の殿堂ともいうべき母校で学べる娘達は幸せだと思います。それにつけても水道橋の演習室で、折に触れ目にした「温故知新」という言葉が思い出されます。

わが子が千葉校舎第1回入学生になった感激

大 橋 康 男（昭和35年卒業）

入学式典に父兄として参列し、27年前の市川での入学式に思いを馳せ、同期の計報がとどく昨今を思い憾無量であった。

吾等八紫会（35年卒）でも数年前より、後継者の育成即ち子弟の母校への入学問題が最大の関心事として常に会合の話題となり、いろいろな情報を耳にし、校舎の移転、同窓会募金、進学準備セミナーの中止等、不安と期待の中に今春をむかえたが、幸いなことに、八紫会の2世8名（木津、沼沢、菅野、高階、平井、藤江、島田、大橋）が進学の栄冠を獲得した。

稲毛キャンパスには、10年の歳月と170余億の巨費が投じられたと聞く。まさに世界最高の歯科医学教育機関であり、またその建学の精神は満ちあふれ、豊かな環境は充実した学生生活を約束し

てくれている。日本歯科界のリーダーが国際歯科医学界のリーダーとして更に飛躍発展していくであろう姿を目にして、同窓として最大の誇りとし感激にたえない。

この新しいキャンパスで、この理想的環境で伝統的教育を受けられる幸福、第1回目の新入生という幸運、166名の諸君に父兄の一人として心より拍手を送りたい。歯科医学を学ぶ第一歩を踏み出したわけですが、歯科医師というスペシャリストになるためには、広いすそ野つまりゼネラルな資質知識が必要なのだ、この新しいキャンパスはそのための学生生活を約束してくれている。父兄として同窓の先輩、入学式で校歌を合唱した仲間として、心から初心を完遂されんことを祈る。

先輩訪問

口腔衛生に生涯をかけて

向井喜男先生（大正3年卒）を訪ねて

先輩訪問は新しい企画です。母校の大先輩で歯科界や学会等でもその道のパイオニアとして、明治から今日への道程を切り開かれた先生方を訪問しすばらしいバイタリティを後輩に紹介してみたいと思います。

我国で一番古い歴史を持つ母校は、各方面でフロンティアとして活躍された先輩が多勢いらっしゃるのも心強い特長の一つで、これはすばらしい遺産だと思います。今回はその第1回として、口腔衛生学校保健等の分野の発展に生涯をかけておられる日学歯の元会長さんである向井喜男先生を山本・桜井両広報委員がお訪ねしました。

東京は品川区上大崎の八芳園に近いタイ国大使館に隣接する寂静なご邸宅に御子息の家族と共に90才を過ぎたとはとても思われぬ大変御元氣な毎日をお過して、お耳が遠いことを除いては健康そのもので、毎日1時間半以上のお散歩を欠かされないとのことでした。お考えもお話も大変シャープでしかも高潔な人格がどこからともなくにじみ出て、対談中常に私共の心に打つものが感じられ、70年間の足跡が上品なうえにも奥ゆかしく、しかも謙虚さの中にさん然と輝いておられました。

血脇・奥村両先生に拾われて

向井先生は母校を堀江先生の一年下で大正3年（1914年）に御卒業になられたというから同窓会名簿でも医学校を除くと、第三回生になられるのではないのでしょうか、今の多くの同窓が未だ出生していない頃の明治に入学されたことになります。

卒業後研究科（現在の大学院みたいなもの）に進まれ、半日は臨床に出てあとの半日を奥村教授によって新設された口腔衛生の研究室に行って、主として人為的な口腔清浄についての研究のお手伝をはじめられていました。

それが次第に学校の外で公衆衛生的活動を始めるようになってしまうわけですが、当時日本歯科医師会の前身の日本聯合歯科医会の幹部であった血脇・奥村両先生が、我国で初めて全国を規模とした歯科衛生思想の普及計画を打出されたのでした。現在でも実行が難しいこの大事業計画は、展覧会向きの標本や掛け図、講演会用の幻灯画板（スライド）作製、また米国から初めて作られた歯科衛生の映画の購入、そしてこれらを加盟の道府県歯科医師会の主催する歯科衛生普及運動に使用するという計画でした。

このような血脇・奥村両先生のお考えは卒業し



たばかりの向井先生の考え及ばぬ所だったかも知れませんが、ところが日聯歯幹部の奥村先生は、卒業2年目の向井先生に全国に派遣し講演する専任講師としてご指名になったそうです。とても出来

そうにない仕事なので直ぐに返事が出来なかったそうです。生涯をかける仕事になってしまった動機としては、あまりにも他動的であったとも思われますが、まさに宿命だったとも述懐されておりました。

現場活動の手慣らしに、東京市歯科医師会の若井金作先生のお骨折りで、各区で開催する展覧会と講演会を小学校の雨天体操場等で連日連夜巡廻し、奥村・川上両先生共々分担講演するようになったそうです。当時の各区歯会の幹部は、無理解非協力の関係方面との折衝には度々辛酸を舐め、苦勞の連続だったと聞き、ますますその内容の充実と講演会の結果の良否には責任を感じられました。そして以後、宮城県・北海道と単身講演に出られるようになりこれは大正7年迄続けられました。

た。

当時の衛生普及資料（視聴覚教材）として奥村教授の作られたスライドのタイトルと内容はまさに今日の口腔衛生の学ぶところであるのに驚きました。例えば、そのごく一部を紹介すると、

- 外国ではどのくらい子供の歯に注意しているか（フォーサイス児童歯科診療所の紹介・米国の小学校における歯刷牙の使用法の実習）
- 子供の歯はなぜ大切にせねばならぬか（消化器・歯の発生・歯の交換・歯列と顔面・歯垢と細菌・頭部頸部のリンパ・歯痛……）
- どうしたら丈夫な歯が生えるか（母親と子供・西洋の小児と歯刷牙……）
- どうしてむし歯ができるか（乳酸醗酵の理解図・間食と残渣・浅在う蝕深在う蝕・残根と膿瘍……）
- どうして、むし歯をふせぐか（清掃前後口内細

菌数の比較・歯刷牙のよしあし・粉歯磨・各歯面の刷牙・含嗽……）

学校歯科誕生への力

明治のはじめから学校医が口腔検査をやっていたのを、血腸・奥村の日聯歯は前述のように全国に歯科衛生普及を呼びかけ、全国会員の共鳴と盛り上げる力を結集し、歯の検査は歯科医がやるのが当然であるという世論にまで発展させ、ついに大正6年6月22日学校歯科医令・幼稚園歯科医の法制化が勅命によって実現されました。

向井先生は、こうした偉大な血腸・奥村両先生の御意志と指針を忠実に受けて、専門的に進められた最初の人といえるのではないのでしょうか、先生のお口からは、そうしたご自慢は聞かれませんが、それからの今日迄の発展は、まさに向井先生の生涯のお仕事として現在も生き、証明さ

口腔衛生運動が始まった頃の世相



東京馬尺用業

日本歯科評論「ある思い出」より転載

れています。

向井先生は、こうした歯科衛生普及の盛り上がりについて、バックグラウンドとなった大正時代という社会的環境の意義についても強調されています。歯科界にとって当時新しい学校歯科という仕事はやはり際立った大きな事業であり、大正という時代でなくては成し得なかったのではないかとおっしゃっておられます。即ち、明治という永くて偉大な維新改革の時代とそして今にしていえば、昭和という更に更に偉大な破乱に富んだ時代との間の回廊きざしとしての歴史上なくてはならぬ大事な役割を果たした時代ともいえ、この人情細やか薫風かおる穏やかな佳き時代だからこそ学校歯科の制度化をはじめ全国会員の献身的協力が得られ発展させ得たのではなからうかともおっしゃっておられます。

集団に力を入れすぎている保健指導

公衆衛生にしても、学校歯科にしても、その対象は集団か個人かということになりますが、先生にいわしめると、集団に力を入れ過ぎており、教育の面でも次から次へと新しい保健指導の方法を打出して取組んでいるが、すべて集団指導に力を入れているように見える。実際には集団というのは関心がきわめて薄く、モチベーションも持たせ難い。歯科医師会の歯の衛生週間の行事にしても、学校における学級指導にしても、かなり個人対象に近いものでもやはり集団的であります。なぜもっと個人を対象に行わないのか残念であるとおっしゃる。個人というのは家庭によるほかはない、母親が兄弟姉妹がそれを行えば、社会環境をも含めて進学に熱意を示す如く、個人指導への成案を示し強く力を入れればもっとう蝕予防の実が上るはずであるので、集団指導共々個人についても考えることを提起されました。

実例として困るのは、幼稚園保育園の時代は家庭で管理し虫歯がなかった者が、小学校へ入り集団指導に委ねた途端、虫歯が出来てしまったという事実が大変多くあるので困ると誠に同感であります。これは現時点でいうと、それぞれの家庭のデンタルIQの差にもより、これが教育に対する

関心度と結び付けば良い結果になるということで、今日強調したいのは、個人指導を重点におかせるためには、口腔検査のあり方について発想の転換をはかる必要があります、そして同時に家庭に対する保健指導のあり方についても重要テーマとして考えてもらいたいとのことでした。

血腸イズムと英世の哲学を核とした水道橋精神

大正の母校は、その社会環境にも似て、穏やかにそして大きく発展しました。それは血腸先生を頂点に下に奥村・花沢というピラミットの図式がはっきりとしたリーダーで、そのピラミットの精神的核というか哲学として、世界的学者の野口英世という人物の哲学、即ち人間は色々な研究議論をしているが結局みんな死んでしまうんだ、全知全能を何時使うか、と行ってアフリカに行きアクラで有名な死を遂げた、この哲学が、“年々歳々人同じからず、年々歳々花相似たり”という言葉にも共通する大きな力となっていた。

とかく文明が高度になると、伝統が失われ壊れて行くことがあり、100年の歴史を重ねる東京歯科大学も、千葉に最新の設備と最高の人材を集めて大発展を遂げんとしているが、大きくなるということは難しくなるということで、やはり常に初心にかえり、創業の精神、水道橋精神を重んじ、その原点が血腸イズムだけではなく、血腸・奥村・花沢のピラミッドの真中に野口英世の学問と業績をも含めた哲学が生き、家庭的な雰囲気の中に常に進取の気性に富んだ校風が生み出されたということをお忘れずに、こんなすばらしい大学は他にないと思っているので、大学関係者や同窓の皆様が、この精神をお忘れずに、これを無くすことなく励んでほしいと結ばれました。

お疲れかと気を遣ったが逆にまだまだ何時間でもお話し出来るとの、お元気なお答えが返って来た。家人のお話でも大変な精神力で真似が出来ない位だとのこと、長いご経験からの真髓をついたご意見は、我々後輩の良き道標となる。ますますご健康で幸せにお過ごし下さいますことを念じて、先生のお見送りに恐縮しつつ、第一回の先輩訪問を無事終了しました。

支部のうごき

東京地域支部連合会

第1回支部長会開催

東京地域支部連合会は、去る5月25日(火)午後6時より、母校水道橋校舎第一教室において、第1回の支部長会を開催した。

佐々木総務の司会、坂副会長の開会の辞に続き吉川会長が立ち、各支部のグループ共済等事業に対する御礼と今後の運営について、特に会員相互の理解と意志の疎通をはかり、一層の団結をはかりたい旨の挨拶をされた。

引き続き庶務報告、逝去会員に対する黙禱、会計の現況報告が行なわれた。

協議事項に入り会計より、従来年間を通じ、ば

らばらに納入されている会費の納入時期を本部会費と同一にしたい、若しくは近い時期に定めたい旨の提案を行ない了承された。

名簿の発行については、先の発行より5か年を経過したので、より正確な名簿を作るということで支部長の先生方の御協力をいただいて進めてゆくということでした承された。

次いで連合会運営と事業について、各部の報告と、予定についての発表がされ、活発な質疑応答が行なわれ、又意義ある要望が数多く寄せられ、今後の連合会運営に大いに役立つ支部長会となった。(宮下 記)

学術講演会のお知らせ

日時 昭和57年9月14日(火曜日)

PM6.00~8.30(予定) 時間厳守

場所 母校水道橋校舎第四教室

日程 映画 GC製作「歯内療法臨床実技」

上映 PM7.00~8.30(予定)

講演 及 質疑応答

講師 東京歯科大学水道橋病院長

長谷川 正康教授

演題 「最近の根管処置の傾向」

少しでも多くの会員に参加して頂きたい。という趣旨で企画致しました。

現在、根管充填材として、糊剤充填材と並んで、ガッタパーチャー等が広く用いられていますが、最近根端の閉鎖性のよい水酸化カルシウムが見直されているようです。又、糊剤充填材でも根管内で固まるものも出ています。抜髄時の根管処置と感染根管のそれとは、おのずから違っていますが、これらを含めて最近の根管処置の傾向について、長谷川教授に臨床に直結したお話を頂くことにしました。当日は休みの前夜になりますが、多数の御来会をお待ちしております。

(三宅 記)

今回の講演会を開催するに当たって、(1)明日からの臨床にすぐ役立つ講演を聞きたい。

(2) 開始時間を守り、時間を有効に使いたい。

(3) なるべく早く会報その他で開催を予告して

クラス会だより

十 年 会

大正14年卒



右より前列 原田夫人、石川夫人、松浦寅雄、菊池夫人、大岩夫人、鈴木夫人、奥村夫人、真砂夫人
後列 真砂宇人、松浦夫人、平井夫人、原田逸夫、石原文海、佐藤泰三、佐伯 功、白須賀二郎、
岡本種義、大岩 功、奥村徳次の諸兄弟であり、斎藤照君は1泊のみの出席に、記念写真
より漏れている。出席者20名であった。

昭和57年4月23日より2泊3日の総会を伊豆天城湯ヶ島の鯉沢温泉で行った。

新潟の玉井克依君が、地元で当番を引き受けたが、1月13日急逝され当番の栄は私に賜った。中伊豆狩野川の傍り、天城の山々を眺めながら1年振りの会合だ。遠く佐賀、博多、和歌山、奈良、大阪、岩手など20名の賑やかな総会だ。八十路を前後する吾々は肩を寄せ合って、相まみ得る俵を噛みしめていた。

前日の日本中が豪雨に見舞われた後、3日間とも嘘のように晴天続きで俵を背に一杯受けての会合であった。当夜は旅の疲れとあって、夕食後早々同寝に就く。24日はハイヤーを連ねて午前10時宿を出発。

今年開通した南伊豆と中伊豆を結ぶ、巨大なロープ橋を見る。青く塗られた橋げたは、天城の山々の緑に映えて見事だ。時間も短縮され便利にな

ったものだ。次に昭和の森会館へ。伊豆半島の総てが判るパノラマ、伊豆を愛した文人の墨蹟の数が展示されている。地元生れの井上靖、又若山牧水、吉川英治、吉田絃二郎、島崎藤村、幸田露伴、三好達治、「伊豆の踊り子」で伊豆観光の恩人川端康成など見事なものである。猪村はたしか世界でも珍しい、猪の牧場とか。熊の牧場は北海道と熊本に2カ所だけあると聞いていたが、猪や狸の曲芸まで見せてくれる。

当夜の総会は佐藤泰三君の司会に始まる。先づ物故会員の1分間の黙祷の後、岡本種義君が指名され開会の辞、当番白須賀の挨拶と、来年度の総会の当番の選出である。満場一致で石原文海君がおされ、快諾を得て又来年の楽しみが増える。原田夫人の宴半ばの美声が会場に響きわたる。かくして翌25日はお別れパーティーの後、来年の総会を楽しみに惜しい別れを告げた。(白須賀 記)

堅 久 会

昭和16年12月卒業



昭和56年総会旅行

昭和56年11月6日同窓会総会の当日、午後5時に高輪プリンスホテルに集合し、中国から招待した鄭麟蕃君も参加し、夜の東京観光に貸切バスにて出発し夕食をして同ホテルに宿泊した。

翌日は貸切バス2台で千葉校舎を見学し、大学病院前で記念写真を撮り、奥湯ヶ原温泉の山水楼に向う。同館会議室で卒業40周年記念総会を行い、物故会員66名の慰霊式を行った後、記念ブローチを贈呈する。

宴会は木村（哲）幹事長の挨拶、鄭君の謝辞など40年の思い出を秋の夜長に語り合う。翌朝食後に解散する。鄭君を同伴して千葉校舎の記念式典に参加する。

参加者（同伴）石丸透、大川好蔵、橋本慶博、若林忠雄、畑見、荻原弘士、佐藤摩事、大野季彦、相野孝雄、清水由夫、早川企三男、前原誠次郎、湯本雄三、小川涉、小林与一、（単身）伊藤嵩、平佐武郎、金山政一郎、小川至郎、荻野延宏、大島康稔、八田申六、滝竜人、石光範、石川堯、鈴木一志、山崎吉男、服部久夫、草谷精治、小出修、宮原長知、山田泰成、木村哲男、高野文夫、田口芳治、鄭麟蕃、甲田一夫、松浦誠一、高橋勝

哉

○ 昭和57年旅行は10月14日（木）～16日（土）南九州と決定しました。14日鹿児島空港午前10時30分集合で指宿温泉、宮崎宿泊し16日午後3時宮崎解散です。案内書は近畿日本ツーリストから送付しますので、奮ってご参加をお願いします。

○ 山崎数男君が日歯会長に四選されたのを祝って、幹事会で協議の上、お祝を贈呈しました。

○ 裸

木村哲男定形詩集が日本定形詩人会から昨年発刊され、本書は日本図書館協会選定図書に選ばれた。主目次は<下町のうた><裸><玉の井詩帖>に分かれている。裸の一節を紹介すると

空に枯葉を 散らしては
木々は裸を 陽にさらす
幹をかためて 年輪に
いのちの移り 脈うたせ
誰にむかって 問うでなく
おれも裸で 世に生きる

発行所は東京都練馬区関町北3-20-26
日本定形詩人会

（高橋勝哉 記）

五 十 一 期 会

昭和20年9月卒

1) 学友二日市光郎君の結婚披露宴開催

去る2月20日ホテルパシフィックのエメラルド之間にて午後4時から賀宴が華麗に行われ、母校病院長の高橋(庄)君が乾杯の音頭をつとめ又友人代表として早川君が挨拶された。東京と神奈川の学友15名と五十華会より酒井夫人、早川夫人、増田(一)夫人が参列し心からの祝福をおくった。二日市君おめでとう。玉椿の八千代、二葉の松の末かけて、いついつまでもお幸せに。慶祝!

2) 本年度東京会開催の報告

友と語らむ美酒を酌みかわす、これ春の風ともいへり。4月15日新宿車庫本店で定刻6時半から酒井代表幹事の開会第一声の挨拶、新幹事の紹介後逝去された橋高君、平山(輝)君、古沢夫人の3名に対し御冥福を祈った。酒井君より5月の51期会総会について中間状況の説明があり、盛会を期待したいと述べられた。続いて二日市幹事より会計報告があり会務報告後宴会に移り、お互いの

健康を祈って乾杯! 毎年恒例になった東京会も51期会の中心的役割りをつづけて実績をあげ今日に至っている。卒業以来水道橋校舎の地下会議室で始めてからその歴史は意義深いものがある。東京と神奈川と千葉と埼玉に渉る52名の学友が主体となって51期会を今日の様なすばらしい盛りあがりの発展に寄与された好意と友情に厚く御礼を申上げたい。本日の出席者は次の通り。岡(一)、増田(一)、酒井、鶴岡、並木、二日市、中村、桜井(正)、和光、田上、早川、片山以上12名。折しも時ならぬ物凄じき春の嵐に遭遇し、丁度謡曲羅生門の一節を思い出しながら盃をくみかわし、とりどりに頼みある中の酒宴に一興談笑しばし伴ない相語りあった。片山君がおくれて出席され拍手を浴びる。兎に角酒盛りの最中に全身濡れネズミの如くビしょヌレで現れ如何に恐風なるか?を感じさせた。何時果てるともなく時の過ぎるのも忘れがちであったが酒井君より来月の総会で再会を約し閉会する。(鶴岡 記)

い づ み 会

昭和23年卒

いづみ会の諸兄お元気ですか。昨年は母校の稲毛キャンパス落成、創立90周年記念にあわせてクラス会を開催し、多数の参加を得ましてまことに有難うございました。北海道の新井君、能登の大森君、石川の中川君などめずらしい顔もみえて、今後も会の盛り上りを期待しております。さて昨年の高輪プリンスホテルでの総会席上、次期開催地は未定となっておりますが、この程幹事会で漸く場所が決まりましたのでお知らせをしておきます。本年は中久喜教授も出席の予定ですので奮

って御参加下さい。今回は豊橋の伊藤哲君に御世話を頂くことになり、諸般の事情から一泊の総会となりました。いずれ詳細は御案内致しますが、概略下記の通りですので日を空けておいて下さい。

記

日時 昭和57年9月11日(土) PM4:00集合
場所 豊橋 ホテル ホリデー イン
12日(日)は周辺の簡単な観光のあと午後解散の予定です。(野村 記)

八 紫 会

昭和35年卒

クラス会総会（9月25日）迫る！

昨秋の千葉に於る総会及び大学見学のクラス会が大盛況をほくしたのに続き、今年9月25・26日の大阪に於けるクラス会も岸（牧野）君はじめ、徳永、吉田、木村君達のお世話で申込みは既に70名に達し、皆さんの御協力のおかげで地方での会としては稀にみる盛況に幹事諸君も感激しております。正式な開催要領等は、間もなく発送致すのですが、今からでも数名程度の追加が可能ですので、御希望の方は、岸君まで直接御連絡下さい。

近頃の八紫会のクラス会では、懇親会のあちこちで、子弟の進学の話が聞かれ、また情報交換

等も盛んようです。今年も現役・浪人を含め8名の二世の入学が実現したことは誠に慶賀にたえません。現在千葉校舎には、学2を筆頭に10名を越す人数となり、これからなおぞくと増え、父兄会をにぎわすことでしょう。

本号特別企画にも大橋康男君にお願いし、子弟を千葉校舎に入学させた感想文を掲載していただきましたので御高覧下さい。

最後になりましたが、卒業20周年記念に千葉進学棟前庭に石のベンチ3脚を寄贈致しました写真と、学長の感謝状の写しを会員全部にお送り致しましたが、未着の方は幹事までお申出下さい。

（桜井記）

踏 志 会

昭和41年卒

本年度、第17回踏志会総会が福岡県在住の北野、橋本、宇美君達のお骨折りで下記のように決定致しました。（すでに皆様のお手元に幹事の方達よりパンフレットが送附されている事と思えます。）

総 会 日時：10月16日（土）18：00

場所：福岡市博多「河太郎」

ゴルフ 日時：10月15日（金）

場所：九州志摩CC芥屋ゴルフ場

観 光 日時：10月16日（土）

校歌の作詩者、白秋ゆかりの水の町柳川下りと太宰府を訪ねる予定です。

返信は予定でもよろしいですから必ず出すようお願い致します。なお過日送附致しました名簿のP9、下から二行目、北甚五兵衛丁17、0734-22-1935→堀止南の丁2-33、0734-22-5483、P11上から9行目北川歯科→難波歯科、上から13行目北川歯科→難波歯科、P13、上から10行目小川町→山川町に訂正願います。その他変更等がありましたら藍原まで御連絡下さい。（藍原 記）

トピックス

ブラジル歯科医学総会

佐藤 貞勝

第10回ブラジル歯科医学総会と第16回ラテンアメリカセミナーが本年1月23日より30日までブラジルサンパウロ市で開催された。昨年の2月20日付の航空便が突然私宛に郵送され、演者として、2日間コースのセミナーと2回の講演の招請があった。

併せてブラジル連邦政府からの要請書があり、技術協力専門家として日本政府より派遣ということで学会に出席した。

ラテンアメリカセミナーの誕生は早く、今回で16回目であるが、医学会は10回目ということである。これら2つの学会は2年ごとに開催され一般講演と特別講演、特別セミナーコースから成り英語、スペイン語、日本語、ポルトガル語が使われている。

今回の参加国は10数か国にわたり、日本、米国、英国と南米各国も参加した。

ラテンアメリカセミナーについて

セミナーは16時間コースが企画され、その内容は、



1)米国の Prof. Hershel Horowitz が予防歯科について 2)日本から私が小児歯科について 3)英国から Prof. G. Neil Jenkins が基礎材料について 4)アルゼンチンから Prof. Anibal Alonso が補綴学について 5)スペインから Prof. Victor Manuel Sada が口腔外科学について 6)アルゼンチンから Prof. Clemente Ravaglia が患者の取扱いについて

2日間にわたって午前8時から午後6時まで講義が行われ、私のコースは400名の定員をオーバーした。終了後は受講者に修了証書を渡した。

私の場合は、同一個人について乳幼児から満15才にわたる口腔内の発育と、1)乳歯の萌出から乳歯列咬合の完成まで 2)乳歯脱落と永久歯の交換 3)永久歯の萌出と萌出順序 4)永久歯列の形成と咬合の成立 について講義をした。

研究方法についての質問などがあり、現在のブラジルの歯科事情と今後の歯学教育発展のためには、私のような基礎研究が必要であると感じた。

一般学会特別講演

一般学会の特別講演には、日本から昭和医大歯学部のと久本貞雄教授（保存）と私（小児歯科）と川嶋英夫氏（技工士）の3人が出席した。それぞれ1時間の特別講演であった。私は第1日目は「小児のう蝕治療とう蝕予防」第2日目は「第1大臼歯の萌出とう蝕予防」について講演をした。



第1日目の講演では現在日本の乳歯う蝕が減少を示し、母親教育を含めた幅広い予防体制に大きな関心を示していた。

第2日目は第1大臼歯が萌出する直前より完全に萌出を完了するまで1年以上にわたって毎週撮影したスライドにより萌出の様子を詳細に観察し、遊離歯肉と汚染の関係をカラーテスターで示すことによって、この時期にう蝕に罹患する危険性の多いことを話した。かくして萌出途上の歯牙の清掃がきわめて困難であるため、新たに考案した歯ブラシとその使い方を話した。

ブラジルの1月は日本と全く反対に暑い夏ということであったが、今年は割合涼しく大体27~30度ぐらいで湿度も思ったよりも少なく楽であった。また、日系2世は歯学部副部長玉置正教授、小児歯科の三宅イサオ教授、補綴の松浦要教授等をはじめその他助教授、講師が活躍して



おり、また歯学部学生の半数が日系人ということであった。またサンパウロ大学歯学部出身者で野村文吾氏は国会議員として活躍しており、今後の発展を期待したい。

“大学も同窓会も激賞さる”カメラ毎日4月号の批評で

「写真輯・水道橋—東京歯科大学」は昨年11月に出版されて以来、読売新聞、カメラ毎日、アサヒカメラ、毎日グラフ、日本読書新聞などで紹介され、一流の写真評論家による批評も揃って好評で写真界に新しい方向のアルバムとして一大旋風を巻き起している。

最近の「カメラ毎日」4月号では「激評」と題して田中雅夫氏が再度とりあげ、撮影の石内都氏はもちろん、この企画を英断をもって実現した大学及び同窓会をも賞賛した一文が掲載されている。

「APARTMENT」で木村賞を受賞した石内都は「絶唱、横須賀ストーリー」を写真集にまとめたあと、昨年10月に「写真輯・水道橋」を出版した。すでに一部紹介されたと思うが、石内が“東

京歯科大学・永遠のモニュメント”と副題のついたこの写真集を手がけるようになった経緯が面白い。この歯科大学はその前身校時代から数えると90年の歴史を持つ日本最古の歯科の学校で、建物の老朽甚だしく遂に新築することになり、そのモニュメントの意味で旧校舎の写真記録をのこすことになった。こういう場合大抵、頭の硬い理事や同窓会のじいさんが集まって、日本でいまいちばん偉い写真屋は誰じゃろう、ナヌ、しのやまきしん、そういえばどこかで聞いたことのある名じゃのう、などと気永に相談ぶつのが普通であるが、この学校には事に臨んで敏捷なる頭領がおったのか白羽の矢を都臈に立てたのである。この都という女史がまた一本の虫歯もなく水道橋に東京歯科大学なんて学校があるなんてことは全くご存じな

く、それでもご指名の注文なんてくることは稀有のことだから早速に引き受け、途中は略すが、平将門の相馬御殿もかくやとばかりのおどろおどろした学校の気分を十分に荒っぽいタッチで表現してみせたのである。馬も馬なり、乗り手も乗りてなりという感じで撮影者と学校との気合いがびったり合った。この場合、石内も減多にない注文仕事を少しのおじけをふるうことなくやりとげて立派だったが、木村賞とやらの受賞作家とはいえ得

体のほどはよく分明しない女の写真家を起用したこの歯医者者の学校の勇断を賞したい。

カメラ毎日より

(田中氏の諒承を得て「水道橋」に関係する部分を転載)

◆「写真輯・水道橋——東京歯科大学」

B4変形判、全200頁 定価13,000円(送料共)

発行—一世出版株式会社(東京都新宿区下落合
2-6-22 03(952)5141)

◆投稿規定

(1) 原稿締切

原稿の締切りは奇数月の10日までとし、原則として翌月発行の会報に掲載いたします。

(2) 投稿様式

投稿は原稿用紙に横書きとし、便箋などの使用はご遠慮下さい。

なお、会報専用の原稿用紙(22字×10行)がありますので、ご一報下されば送付いたします。

(3) 投稿字数

① 随想、詩、短歌、時評などは1編1,500字以内。

② 支部のうごきは、800～1,000字。

③ クラス会便りは、700～800字。

④ よろず告知板は、200字以内。

⑤ 写真は一葉200字に換算して下さい。

⑥ 折角ご投稿いただいたても、規定字数を超えた場合は、掲載いたしかねますのであらかじめご諒承下さい。

(4) 写真等の返却

写真等は、原則として返却いたしません、特に貴重な写真などの場合は、その旨書き添えて下さればご返送いたします。

第11回 同窓会全国ゴルフ大会参加申込書

所属支部名 _____ 氏 名 _____ 卒業年度 _____

住 所 〒 _____ TEL () _____

生年月日 _____

会費 25,000 円也を添え申込みます。

へんしゅうこうき

- ☆ 本号から新企画『先輩訪問』がスタートしました。その嚆矢として桜井、山本両広報委員が我国口腔衛生活動の大先達であられる向井喜男先生を訪問し、大変貴重なご意見をおうかがいし、新シリーズの劈頭を飾ることができました。読後の感想はいかがでしょう。広報部委員会ではこの新シリーズについて会員諸氏からのご意見、ご感想をお待ちしております。
- ☆ 今春の歯科医師国家試験に関する不祥事が連日のようにマスコミ各方面にとりあげられています。大方の国民の歯科医療不信につながりかねない問題であり、大変悲しいことといわねばなりません。一部マスコミにみられるような事実を歪曲しそれを誇張するがごとき報道には怒りを禁じ得ません。こうした風調を矯すべく、歯科教育関係者のみならず、歯科界全体が毅然たる姿勢で対処する必要があるでしょう。
- ☆ 166名の新生を迎え、緑に囲まれた千葉校舎では、新学期の講義・実習が順調に進行しております。今号は特別記事として新生のご子弟を持たれた3名の会員の方にその感想をご寄稿いただきました。親しみやすい会報づくりを目指し、今後も多くの会員の方々にご寄稿をお願いし、全国会員とのパイプを太くし、堅苦しくつまらないといった評価が無きにもあらずであった従来の会報からイメージチェンジしてゆきたいと思っております。

梅雨空の鬱陶しい日が続いておりますが、会員各位の益々の健康ご活躍をお祈り申し上げます。

(薬師寺 仁)

広報担当理事：梅田昭夫，溝上隆男，松川健二，伊藤 哲，仲谷純三，平 佐武郎，馬嶋 博，野上順平
広報部会報編集委員会 委員長 櫻井善忠，副委員長 薬師寺 仁，
委 員 中久喜 喬，中村泰之，山本啓介，古川 正，松井恭平，林 量一

昭和57年6月15日 印刷

編集・発行人 梅 田 昭 夫

昭和57年6月20日 発行

東京歯科大学同窓会

東京歯科大学同窓会会報 第207号

〒101 東京都千代田区三崎町2-9-18

電話 (03) 262-3421 (内線 226)

(03) 264-4859 (直通)

印刷所 一世印刷株式会社

東京都新宿区下落合2-6-22

電話 (03) 952-5651 (代)

キ.....リ.....ト.....リ.....線.....

第11回ゴルフ大会参加者

通 信 欄

高輪と品川、ふたつのプリンスホテル

両プリンスホテルは、東京歯科大学同窓会の皆さまに特別サービスをご用意して、ご利用をお待ちしています。



由緒ある日本庭園を配して緑の中に静まる高輪プリンスホテル。500の客室、10をこえる各種レストラン、バー。つねにプリンスホテルならではの、まごころをこめたおもてなしで内外のお客さまをお迎えし、真のくつろぎを提供いたしております。

都内でも有数の設備を誇るスポーツランドをはじめとして、のびのびと楽しめる新しいタイプのホテル、品川プリンスホテル。ビジネスでのご利用はもちろん、ご旅行にもご家族でのレジャーにも幅広く、気軽にご利用いただきたいホテルです。

●ご宿泊●

特別割引料金にてご利用いただけます。

ご予約は、会員専用のご予約直通電話をご利用ください。

高輪プリンスホテル (03)445-1855 品川プリンスホテル (03)449-3581

★上記専用電話以外のご予約につきましては、特別料金によるご宿泊は、できませんのでご了承ください。

●ご婚礼●

同窓会の皆さまと皆さまからご紹介いただいたご婚礼に対して、各種のサービスがございます。

サービス適用ホテルは、高輪プリンスホテル・品川プリンスホテル・麻布プリンスホテル・白金プリンス迎賓館です。

★ご予約の際は必ず東京歯科大学とお申出ください。

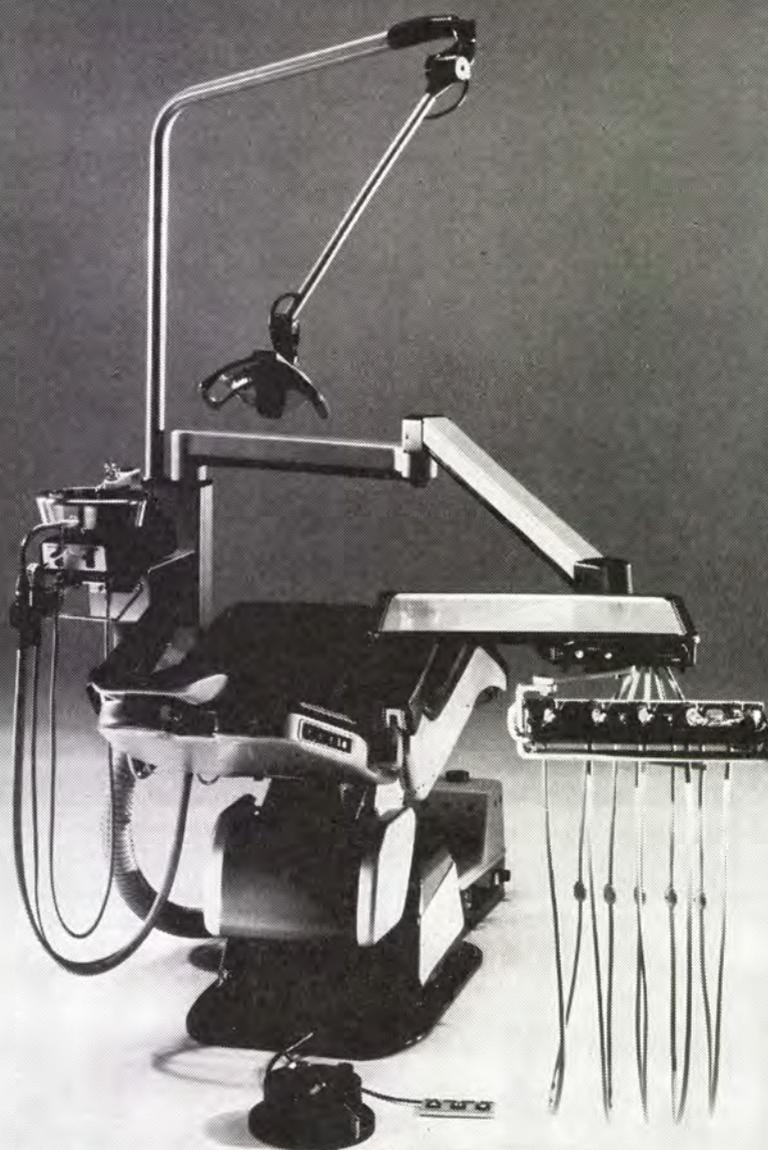
 **高輪プリンスホテル**

東京都港区高輪3-13-1 ☎108 TEL.(03)447-1111

 **品川プリンスホテル**

東京都港区高輪4-10-30 ☎108 TEL.(03)440-1111

「エレクトロロクス」技術を集結した世界唯一の
 チェアマウントシステムのデンタルユニット



スマイリー-GM8000 SERIES

スマイリー-GM8100
 ¥2,986,000

新製品

ハイテクニクを追求しつづける
 オサグが、最新のエレクトロロクス
 技術をデンタルユニットに取り入れ、
 先生の診療を快適で高能率、メンテ
 ナンスの楽な簡潔化を計ったユニッ
 トに完成させました。

IC回路の採用により、例えばワー
 クテーブルがぐつと薄くなり、先生
 方の胸上配置を可能にしました。又、
 ユニットの生命であるインスツルメ
 ントは全てオートクレーブ可能とな
 りFPシステム(先取り優先)採用に
 より、先生方がご使用中でも、他の
 パーの交換の流れに沿って助手が交
 換できるシステム等……技術に生き
 るオサグが、エレクトロロクスを診
 療機器に集結させ、先生方のご要望
 に応え、ここに登場しました。

※全国オサグショールームにてお手にと
 ってお試下さい。



長田電機工業株式会社
オサグの業務機器
 東京都品川区五反田5-17-5 03-3492-7651(代)

(KIK姉妹品)

歯科用金属焼付ポーセレン用メタル ケイ・アイ・ケイ ハード

KIK HARD II

DENTAL USE

重量10グラム

ISHIFUKU METAL INDUSTRY CO.,LTD.

金属焼付ポーセレン用合金

KIK HARD II

- 硬度が210Hvと硬く、長いブリッジ・うすいクラウン等にも最適です。
- 流動性が優れており容易に鋳造できます。
- 焼成回数を重ねてもメタルの変形はほとんどありません。

主成分 金73%・銀2.8%・白金13%・パラジウム9.7%

諸性質 ● 溶融温度1240~1290℃ ● 比重17.8 ● 鋳造収縮1.34

	硬度Hv	引張強さkg/mm	伸び%
鋳造時	180	44	5
グレース時	210	46	5
硬化時	225	48	4

KIKポーセレンの他VITA・CERAMCO等のポーセレンに使用できます。

石福金属興業株式会社

NEW!



ENDODONTIC CEMENT

デンタリス® KEZ

Root canal Sealer & Filler

本格的な根管充填用シーラー**デンタリス® KEZ**が誕生しました!

新製品デンタリス® KEZは、根管充填専用として開発された遅硬化性のセメントで、根管壁及びポイントに対するヌレが優れ、練和後根管内で5-7分で硬化し、エックス線造影性を有しております。また、PHをアルカリ性に調整し、炎症巣への刺激を避けたエンドドンティックセメントです。

〔適応症〕 抜髄根管或いは感染根管治療後の根管充填材として応用します。

または根管充填用シーラーとして、ガッタパーチャポイントとの併用根管充填材として応用します。

〔特長〕・デンタリス KEZは、水酸化カルシウムを含有するエンドドンティックセメントで操作性が良好です。

- ・練和時に適当な粘りがあり、根管壁への接着性及び封鎖性がすぐれています。
- ・硬化時間に一定の余裕がありヌレと流動性がよいのでガッタパーチャポイントとの併用根管充填に特に有効です。
- ・エックス線の造影性がありますので、臨床的に根管の閉塞状況を検討するのに有効です。
- ・根端歯周組織に対して有害作用を示すことなく、自然治癒力を妨げずに治癒にたいして好影響を及ぼします。
- ・デンタリス KEZは、ビタペックス®との積層根管充填には、親和性があります。

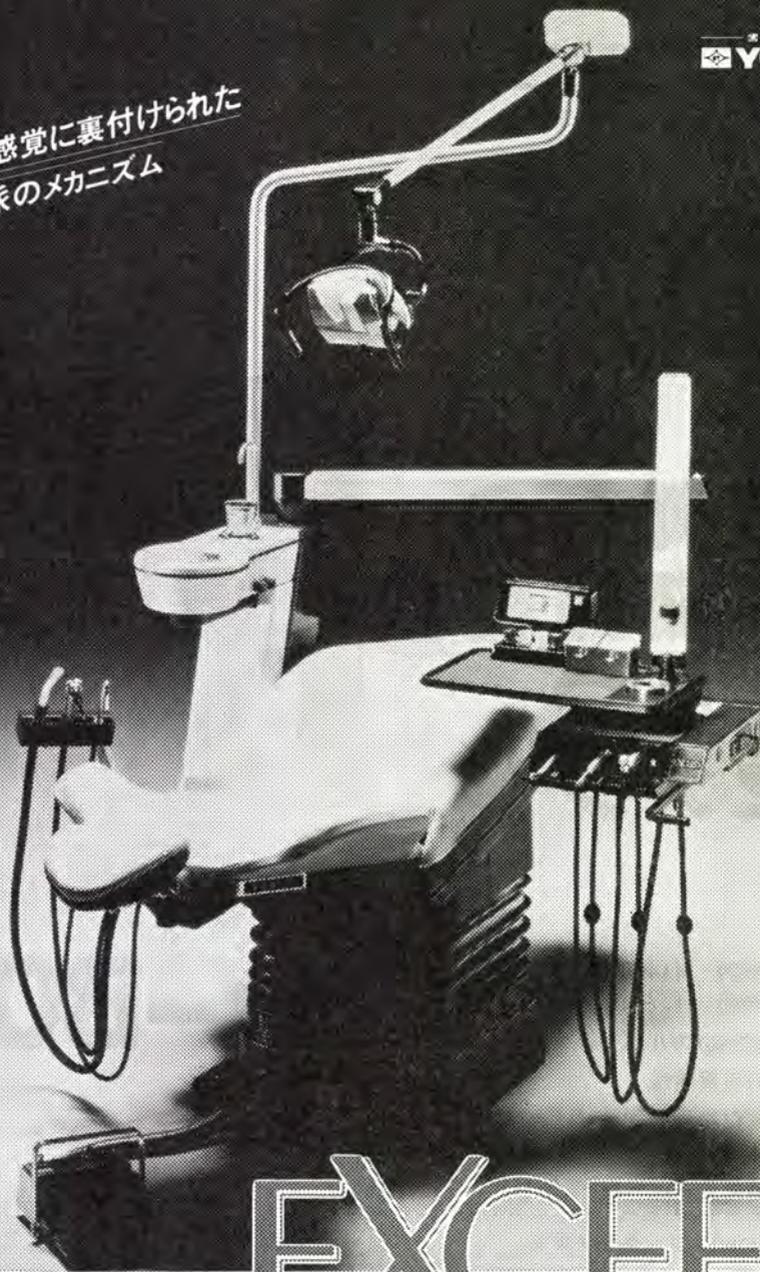


ネオ製薬工業株式会社

〒150 東京都渋谷区広尾3-1-3 Tel. (03)400-3768代

ユニットが変わった!!

ニート感覚に裏付けられた
未来派のメカニズム



エクシード
EXCEED

UFO SYSTEM
United Functional Operation System

ドクターの歯科診療に対する限らない情熱と研ぎすまされた技術を余すところなく、しかも機能的に発揮させてくれるユニットとは? 「感性の時代」と呼ばれる中で、見せかけを超越した機能とデザインをもった「本物のユニット」への指向——余分なものを取り去り極限まで整理されたかたち——まさにニート感覚こそ、ドクターが、そして我々が求めつづけていた結論だったのです。

「エクシード」は、このニートな感覚に裏付けられた未来指向のユニットとして誕生しました。エアタービン、超音波スケーラー、プラケットテーブル、パノラマシャーカステン、チェアー……診療に欠くことの出来ない数々の機能を先生の思いのままにチョイスしていただき、装備することが出来ます。

写真の機種はエクシード8000型です。改良の為、予告なしに仕様を変更することがありますので、ご了承下さい。

AXIS 90

DENTAL CHAIR

世界ではじめてパワー(油圧電動)ヘッドレストを実現。



スイッチひとつで、ヘッドレストが動きます。

デンタルチェアの命といわれるヘッドレストが、スイッチひとつで操作できる“電動”になりました。

患者はラクな姿勢で口を大きく開けられるようになり、さらに術者は自然な姿勢で、より広い口腔内視野が得られるように設計したアクシス“パワーヘッドレスト”。電動油圧技術とIC技術で完成した、90年代志向の新しいデンタルチェアです。

主な仕様
●高 / 420mm ●ストローク / 380mm ●チルト / リクライニング運動チルト
●プリセット / 2ポジションメモリー方式 ●オプション / フートスイッチ
(昇降・寝起) ※標準価格 980,000円



カワイルモント

本社 ●大阪市南区島之内2-13-22 ☎(06)211-2831・大代表
支社 ●東京都港区赤坂7-1-19 ☎(03)403-0311・大代表



Spaceline NEW[®] Standard

診療効率を高める究極の機能——ニュースタンダード

診療の効率化が叫ばれているいまこそ、水平位診療の原点を極めたスペースラインが真価を発揮します。ニュースタンダードは、最新の電子技術で内部のメカニズムをグレードアップ。さらに、バキュームフィルターがハウジングの外側についてメンテナンスが楽になりました。

標準インストルメント	ニュースタンダード	ニュースタンダードII
エアベアリングハンドピースアストロン(AT-C)	● ○	● ● ○
アストロンホース回路	●	● ●
マイクロターハンドピーストルクス(TR-2ND)	●	●
スリーウェイシリンジ	● ●	● ● ●
バキュームシリンジ	●	●
サライバエジェクター(シャットオフバルブ付)		●

○は予備ハンドピースを表わします。
(外観および仕様などは改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください)

■標準価格 スペースライン ニュースタンダード ¥3,080,000
スペースライン ニュースタンダードII ¥3,397,000
(オペレーティングツール1台付、バキュームモーターなし)

21世紀のデンタルライフをひらく 株式会社 **モリタ** 東京都台東区上野2丁目11番13号 〒110 ☎(03)834-6161

株式会社 **モリタ** 製作所 本社工場・京都市伏見区東浜南町680番地 〒612 ☎(075)611-2141 / 久御山工場・京都府久世郡久御山町大字市田小字新築城190 〒613 ☎(0774)43-7594
株式会社 **モリタ** 東京製作所 埼玉県与野市上落合355 〒338 ☎(0488)52-1315

相性ぴったり・ベリロイド

GC

ベリロイド《スティック》は、ベリコールアローマ/ベリコールアローマ《グリーン》とコンビで使う連合印象用寒天です。

いま、手軽な精密印象法として話題の

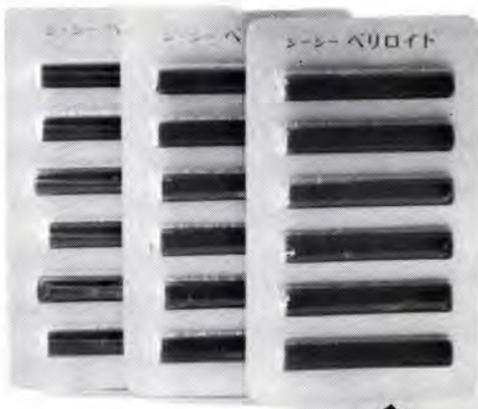
寒天とアルジネート印象材による連合印象法——

二つの印象材の相性の良否が精度や使い易さを、

大きく左右する点にもご注目ください。

好評＝ベリコールアローマ

/ベリコールアローマ《グリーン》との



相性を考えて開発されたベリロイド。

抜群の接着性、適度な流動性とコシの強さ、

そして識別容易な色調——

どこから見ても、生まれながらの名コンビです。

急硬化性アルジネート印象材

ベリコールアローマ《グリーン》

連合印象用寒天印象材

ベリロイド《スティック》 **新発売**

寒天印象材用シリンジ

ベリシリンジ《スティック用》



而至齒科工業株式会社 デンタルインフォメーションセンター **G-C DIC**

〒113 東京都文京区本郷3-2-14 Tel.03(815)1511 ●東京DIC 03(816)6480(直)

お問い合わせ先 ●北海道DIC 011(271)7373(代) ●東北DIC 0222(71)8757(代) ●名古屋DIC 052(703)3231(代) ●大阪DIC 06(771)4682(代) ●広島DIC 0822(55)1771(代)
●九州DIC 092(441)1286(代) ●新潟出張所 0252(84)6622 ●徳島出張所 0886(25)8244 ●長崎出張所 0958(47)6104 ●鹿児島出張所 0992(68)0070

歯科技工学科

受験資格 高校卒業以上又は同等の者
定員 50名(男女)
修業年限 2カ年(昼間)
願書受付 昭和57年12月1日(木)より昭和58年1月27日(木)まで
入試期日 昭和58年1月29日(土)・30日(日)
試験科目 英語(A)・数学(I・II A)・国語(現代国語・古典I甲)・実技・面接

□ 歯科技工専修科

特徴 本専修科は、歯科技工士の資格を有する者にさらに高度の専門教育を行い、特に臨床科目に重点を置きマンツーマン教育を徹底させる。

受験資格 歯科技工士の資格を有する者(外国の資格も含む)
修業年限 2カ年(昼間)
定員 25名



顧問 東京歯科大学学長 松宮 誠一



東京歯科技工専門学校

〒141 東京都品川区西五反田5-1-10(東急目蒲線不動前徒歩2分) TEL.03(492)4221代 ※入学案内 千共1,000円(切手可)

ライバルはラバー系のみ
アルジネート印象材の新しい方向

パナコール



歯科用アルギン酸塩印象材

経済性重視

新発売

粉末汚染防止

寒天不要

ラバー系不要



特許出願中



日本歯研工業株式会社

本社：〒141 東京都品川区西五反田5-1-10 ☎03(492)0927(代)

支社：〒553 大阪市福島区海老江1-5-67 ☎06(458)7071(代)

上野営業所：〒101 東京都千代田区外神田6-10-6

吉岡歯材ビル2F

☎03(831)7031・7033